

流通合理化事業活動の概要



事業者： 業務用食品等近畿物流改善協議会

計画概要

無線式DAS（デジタルアソートシステム）導入することにより、導入企業は仕分け作業の効率化による物流改善が図られるとともに、学校給食・病院・集団給食・飲食店等の納入先では、発注内容どおりの正確な納品が実現し、欠品や品違いがほぼ解消される。これにより納品先からの信頼性が向上し、取引機会の拡大や継続的な受注につながることで、導入企業の取扱量及び売上高の向上を図る。

目標

導入拠点の年間売上高を現状の21,024百万円から令和12年3月末までに22,152百万円（+5.4%）に増加させる。

食料システムへの寄与

無線式DASにより仕分け精度が向上し、欠品・誤納品が減少することで流通の合理化と生産性が高まり、納入先の献立計画の安定化や農林業者の計画的な調達及び収入の安定化に寄与する。

また、適正在庫化と廃棄削減により食品ロス及び環境負荷が低減され、食料品の安定供給を通じて国民生活と食品産業全体の利益増進に資する。

計画のイメージ



配送



検品

・無線式DAS(デジタルアソートシステム)の導入



信頼向上

欠品がない安定した商品の供給



取扱量・売上高の向上

(2026年8月28日認定)